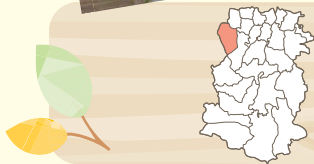




このコーナーでは、小学校区単位（地区）でまとまって地域活動に取り組む「地域コミュニティ組織」をご紹介します。



長峰地域づくり協議会

地域で守り はぐくむ 人と自然 進めよう 未来への長峰づくり

児童の元気な口説き！



長峰地域づくり協議会発足の平成27年から「平和を祈る戦没者慰霊盆踊り大会」が復活し、毎年8月18日に長峰小体育館で開催されます。長峰全域から約130人が参加し、口説き保存会や放課後チャレンジ教室児童の口説きに合せて踊りの輪ができます。今年は新型コロナウイルスの影響で中止しますが、夕方の戦没者慰霊碑での供養は行う予定です。

地域の伝統を守り、魅力ある歴史を伝える

活動の一部をご紹介します

コスモスを眺めながら…



事務局
奈良さん

また、秋には長峰史跡ウォーキングが開催されます。千手観音像がある清水寺、大根川神社と宇佐神宮への勅使街道、中世の城跡（佐野城・光岡城・丸尾城）、ため池とカップバ伝説、義民赤尾丹治の一揆、横光利一の「旅愁」の足跡などを長峰内外からの約100人で歩きます。今年も11月8日（日）を予定していますので、ぜひご参加ください。今後は、常設コースの整備も計画中です。

長峰の散策
おすすめスポット

1300年の歴史を刻む 補陀落山清水寺

長峰の西のはずれ、清水地区の奥に清水寺があります。奈良時代の養老元年（717年）から続く名刹です。奥の観音堂には、十一面千手観世音菩薩が安置されており、毎年1月10日と8月10日に御開帳されます。新緑に包まれた清水寺は心安らぐ素敵な場所です。ぜひ一度ご参拝ください。



問合せ／まちづくり推進課 コミュニティ係（☎ 27-8237）

県立歴史博物館がある宇佐風土記の丘の中に、国史跡の川部・高森古墳群があります。3世紀末から6世紀にかけて造られた6基の前方後円墳を中心に、約120基の円墳や周溝墓が集中しています。

このうち赤塚古墳は推定墳長約58m、3世紀末に築造された九州最古の前方後円墳の一つです。大正10年、箱式の石棺から三角縁神獣鏡等5面や鉄刀などが出土しています。三角縁神獣鏡はヤマト政権が各地の首長に与えたものと考えられており、椿井大塚山古墳（京都府）や石塚山古墳（福岡県）と同じ鋳型で製作されています。

なお、三角縁神獣鏡は邪馬台国の卑弥呼が魏からもらった銅鏡百枚の一部で、赤塚古墳は卑弥呼の墓ではないかという説があります。魅力的な話ですが、



赤塚古墳の築造時期は卑弥呼が銅鏡をもらった239年より半世紀余り後であることなどから説得力にやや欠けるようです。赤塚古墳などの被葬者は、古墳時代に宇佐地方を支配していた宇佐国造家の一族と考えられています。ヤマト政権の九州支配の最前線に位置した宇佐の地に前方後円墳を築造することで、九州の豪族たちにヤマト政権のパワーを見せつけたのです。

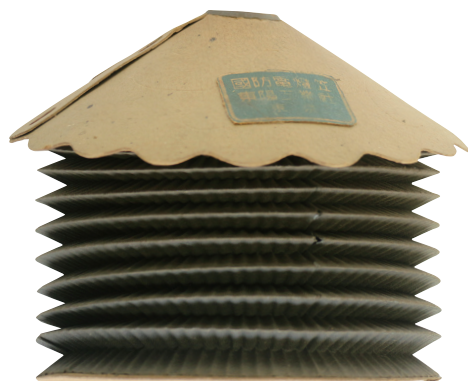
平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

27 国防電燈傘

昭和20年3月18日の初空襲以降、宇佐海軍航空隊とその周辺は幾度も空襲を受けています。夜間は空襲に備え、攻撃目標とならないよう明かりの使用を制限する灯火管制が行われることがありました。この電燈傘は紙製で、普段は縮めている蛇腹部分を下に伸ばして電燈を覆い、光が室外に漏れるのを防ぎました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）